



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会社名 日邦産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩佐 恭知
(JASDAQ・コード 9913)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 三上 仙智
(TEL. 0587-98-1227)

業績予想と実績の差異、営業外費用の減少並びに特別利益及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成29年2月6日に公表いたしました連結業績予想数値と本日公表の実績値につきまして、下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。併せて、営業外費用の減少並びに特別利益及び特別損失の発生についてもお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

1. 平成29年3月期 連結累計期間 連結業績予想の数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	37,500	250	△160	40	4.39
今回発表実績(B)	38,431	286	△167	164	18.14
増減額(B-A)	931	36	△7	124	
増減率(%)	2.5%	14.4%	—	310.0%	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	42,313	△386	△782	△902	円 銭 △99.07

2. 修正の理由

前回発表予想(A)と今回発表実績(B)の親会社株主に帰属する当期純利益の金額に差異が生じました。これは、前回発表予想時に当社子会社である、FNA MECHATRONICS MEXICO S. A. de C. V. に量産計画の遅れが生じていたことを受け、固定資産の一部減損を見込んでおりましたが、専門家による時価評価金額が当該見込金額を上回ったことにより、減損損失を計上しなかったことによるものであります。

3. 営業外費用(為替差損)の減少

当社における為替差損発生時の主な要因は、親子ローン残高を円貨換算した時に生じる為替差損益となります。第3四半期連結累計期間における為替差損の金額は1,042百万円でありましたが、その後第4四半期連結会計期間において、為替レートが円安に移行したことにより、為替差損の金額が367百万円に減少いたしました。

なお、この為替差損益は評価上の差損益といえども、当社の連結財務諸表に及ぼす影響が大きいため、当社は次期以降の為替差損益の発生を抑制するために、為替予約、親子ローンの通貨切替その他の施策を講じたところであります。

4. 特別利益及び特別損失の発生

(1) 特別利益

平成 29 年 2 月 6 日付お知らせに記載した政策保有株式を予定通り売却した結果、投資有価証券売却益 188 百万円を計上しております。

(2) 特別損失

当社個別決算において、当社子会社である FNA MECHATRONICS MEXICO S. A. de C. V、NIPPO METAL TECH PHILS., INC 及び日邦メカトロニクス広島株式会社の純資産額が著しく減少したため、関係会社株式評価損 623 百万円及び関係会社事業損失引当金繰入額 190 百万円を計上しております。

なお、上記の特別損失は、連結損益計算書において、その全額を消去しております。

以 上